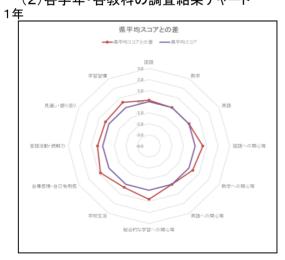
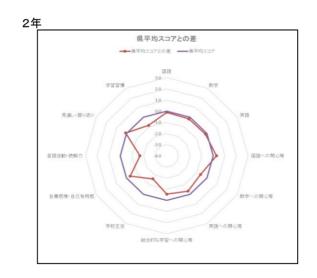
# 令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立湖南中学校)

#### (1)学力調査結果から見られた傾向

<u>(1)学</u>	_(1)学力調査結果から見られた傾向				
		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策		
	国語	○「話す・聞く」「読む」「書く」「伝統的な言語文化と国語の特質」の領域で県平均を上回っている。 ○単語の分類は県平均を大きく上回っている。 ●漢字を書く問題で正答率が県平均を下回っている。	・漢字の学習は、復習の機会を持ち、繰り返し練習をする。		
1年	数学	<ul><li>○「数学的な見方や考え方」の観点で県平均を上回っている。</li><li>○活用問題で県平均を上回っている。</li><li>●「知識・理解」の観点で、県平均を下回っている。</li><li>●「図形」の領域で県平均を下回っている。</li></ul>	・図形の領域の学習で、知識を定着させるために、短答式の 質問に答える学習を授業で取り入れる。		
	英語	○「聞くこと」の領域が、他の領域に比べ正答率が高く、県平均を上回っている。 ●「書くこと」の領域は正答率が県平均を下回っており、無回答率も他領域より高い。	・「書くこと」のスモールステップとして発音練習や音読の時間を確保し、読む力をつける。 ・自己表現活動や英作文を行い、個別に添削することを取り入れる。		
	国語	○「書く」の領域で県平均を上回っている。 ○●「書く」の設問は二問とも県平均を上回っているが、「情報を用いて、意見文の下書きに具体例を書き加える」設問は無回答も多い。 ●漢字を書く問題で正答率が県平均を下回っている。	・文字カテストや、授業で行っている漢字小テストの動機付けをより積極的に行う。 ・授業内で「書く」活動を増やし、その中で具体例を挙げて説明することに慣れさせる。		
2年	数学	○数や文字の式の計算は正答率が県より高い。 ●関数領域に苦手意識をもっており、正答率が低く、無回答率も高い。 ●記述形式の問題や発展的な問題に対する無回答率が高い。	・授業内で「見える化」を進め、見て感じそれを表現できるように工夫する。 ・既習内容の反復練習や生活に関連した課題の提示をする。		
	英語	●生徒間の正答数格差が大きい。 ●「書くこと」の領域に弱さが見られる。 ○「聞くこと」の領域では、他の領域と比べて正答率が高い。	・フォニックスや語彙学習を継続的に行う。 ・スローラーナー・ファストラーナーの両方が、充実した学びができるよう、選択のできる学習活動を行う。		

## (2)各学年・各教科の調査結果チャート





### (参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
	本校	70	49	62
1年生	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
	本校	75	34	50
2年生	松江市	77	40	54
	島根県	77	38	53

2年生 156 人

1年生 167 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。 スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。 (3)生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

(6/1/10)		成果と課題(○:成果、●:課題)	<b>対策</b>
1年	授業改善に関わる事項	の『協同学習』の実施により、「授業でグループで調べ学習をよくしている」や「授業で話し合う活動をよく行っている」に関しては、県平均より高い。  ●平日10分以上読書している者が少ない。	
		=	・家庭学習の習慣化と充実を進めるために、学習取組表の活用や家庭での生活リズムの改善を図る。また、放課後学習会への参加を呼びかけ、家庭学習へつながるようにする。
2年	授業改善に関わる事項	○学校図書館を活用した授業を増やしたことにより、昨年より数値が 大幅に改善している。また、読書の習慣も向上している。 ●授業において、発表の機会はあるものの、調べ学習や話合う活動 などの機会が不足している。	・朝読書を今後も設定することで読書の機会を継続して確保する。 ・授業中の発表の機会を増やすとともに、これまでの『協同学習』の取組をさらに推進して、各教科・領域においてグループやペアによる学習の場面やそのための課題を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○携帯電話の使用時間が1時間未満の生徒の割合が、県平均より多い。 ●家庭学習時間の少ない生徒が県平均より多い。 ●宿題をていねいに見て返すことなど、課題の取り扱いについて課題がある。	・家庭学習の習慣化と充実を進めるために、学習取組表の活用や家庭での生活リズムの改善を図る。また、既に実施している毎週の放課後学習会を継続し、家庭学習へつながるようにする。

#### (4)生活・学習に関する意識調査の結果

